

## 山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の問合せ先にお問合せください。

研究課題名	Perioperative hypothermia is a prognostic factor of cystectomy especially for stage II Muscle-Invasive bladder cancer.
該当者	2003年から2016年に当院泌尿器科で膀胱全摘術を受けられた方
当院の研究責任者	泌尿器科 諸角謙人
研究代表者	泌尿器科 諸角謙人
本研究の目的	筋層浸潤膀胱癌に対する膀胱全摘術は標準治療であるが、合併症や再発がも少なくない。術後の合併症や再発に対して術中低体温等の予測因子が存在しないかどうか検討する。
実施予定期間	2018年2月14日～2018年5月20日
研究の方法	この調査では、当院の外来・入院治療において、2017年2月14日～2018年5月20日までの間に、当院泌尿器科で膀胱全摘術を受けられた方の診療情報からの調査を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、診断、治療経過、合併症
外部への試料・情報の提供・公表	調査成果をAmerican Urological Association ANNUAL MEETING 2018で公表します。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報情報は削除します。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	泌尿器科 諸角謙人 023-685-2626